

# 新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	プラリア皮下注 60mg シリンジ	劇	市販直後調査 平成 25 年 6 月～平成 25 年 12 月
(英名)	PRALIA SUBCUTANEOUS INJECTION SYRINGE		
(規格・含有量)	1シリンジ(1ml)中、デノスマブ(遺伝子組換え)60mgを含有		
(一般名)	デノスマブ(遺伝子組換え)注		
(メーカー名)	第一三共		
【薬価収載日】	2013年5月		
【薬価】	1筒:28,482円		
【薬効コード】	873999		
【薬効分類名】	ヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤		
効能・効果	骨粗鬆症		
用法・用量	通常、成人にはデノスマブ(遺伝子組換え)として 60mg を 6 カ月に 1 回、皮下投与する。		
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②低カルシウム血症の患者 ③妊婦又は妊娠している可能性のある婦人		
副作用	<b>重大な副作用</b> 低カルシウム血症、顎骨壊死・顎骨骨髓炎、アナフィラキシー、大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折、重篤な皮膚感染症 <b>その他</b> 湿疹、高血圧、上腹部痛、背部痛、肝機能異常 等		

(薬品名)	アミティーザカプセル 24μ g		
(英名)	Amitiza		
(規格・含有量)	1カプセル中、ルビプロストン 24μ g を含有		
(一般名)	ルビプロストンカプセル		
(メーカー名)	アボット		
【薬価収載日】	2012 年 11 月		
【薬価】	1 カプセル: 156.60 円		
【薬効コード】	872359		
【薬効分類名】	クロライドチャンネルアクチベーター		
効能・効果	慢性便秘症(器質疾患による便秘を除く)		
用法・用量	通常、成人にはルビプロストンとして1回24μ gを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。		
禁忌	①腫瘍、ヘルニア等による腸閉塞が確認されている又は疑われる患者[腸閉塞を悪化させるおそれがある。] ②本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ③妊婦又は妊娠している可能性のある婦人		
副作用	<b>その他</b> 下痢(30%)、悪心(23%)、腹痛(6%)、胸部不快感(5%)、頭痛 等		

(薬品名)	ビデュリオン皮下注用 2mg	劇	市販直後調査 平成 25 年 5 月～平成 25 年 11 月
(英名)	BYDUREON		
(規格・含有量)	1 バイアル中、エキセナチド 2.6mg を含有		
(一般名)	持続性エキセナチド注射剤		
(メーカー名)	アストラゼネカ		
【薬価収載日】	2013 年 2 月		
【薬価】	1 キット:3,486 円		
【薬効コード】	872499		
【薬効分類名】	2 型糖尿病治療剤		

効能・効果	2型糖尿病治療剤
用法・用量	通常、成人には、エキセナチドとして、2mgを週に1回、皮下注射する。
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者〔輸液及びインスリン製剤による速やかな高血糖の治療が必須となるので、本剤の投与は適さない。〕 ③重症感染症、手術等の緊急の場合〔インスリン製剤による血糖管理が望まれるので、本剤の投与は適さない。〕 ④透析患者を含む重度腎機能障害のある患者〔本剤の消化器系副作用により忍容性が認められていない。〕
相互作用	<b>本剤他剤副作用増強</b> 糖尿病用薬（ビグアナイド系薬剤、スルホニルウレア剤、速効型インスリン分泌促進剤、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤、チアゾリジン系薬剤、ジペプチジルペプチダーゼ-4阻害剤、インスリン製剤） <b>本剤作用増強</b> 血糖降下作用が増強される薬剤（ $\beta$ -遮断剤、サリチル酸誘導体、モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤等） <b>本剤作用減弱</b> 血糖降下作用が減弱される薬剤（アドレナリン、副腎皮質ステロイド、甲状腺ホルモン等） <b>その他</b> クマリン系薬剤（ワルファリンカリウム）、HMG-CoA還元酵素阻害剤
副作用	<b>重大な副作用</b> 低血糖、腎不全、急性膵炎、アナフィラキシー反応、血管浮腫、腸閉塞 <b>その他</b> 悪心、下痢、嘔吐、注射部位硬血、注射部位そう痒感 等

(薬品名)	ネオキシテープ 73.5mg	市販直後調査 平成25年6月～平成25年12月
(英名)	NEOXY TAPE 73.5mg	
(規格・含有量)	1枚中、オキシブチニン塩酸塩 73.5mgを含有	
(一般名)	オキシブチニン塩酸塩経皮吸収型製剤	
(メーカー名)	久光	
【薬価収載日】	2013年5月	
【薬価】	1枚:189.40円	
【薬効コード】	87259	
【薬効分類名】	経皮吸収型 過活動膀胱治療剤	
効能・効果	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	
用法・用量	通常、成人に対し本剤1日1回、1枚（オキシブチニン塩酸塩として73.5mg）を下腹部、腰部又は大腿部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替える。	
禁忌	①尿閉を有する患者〔抗コリン作用により排尿時の膀胱収縮が抑制され、症状が悪化するおそれがある。〕 ②閉塞隅角緑内障の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状が悪化するおそれがある。〕 ③重篤な心疾患のある患者〔抗コリン作用により頻脈、心悸亢進を起し心臓の仕事量が増加するおそれがある。〕 ④幽門、十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスのある患者〔抗コリン作用により胃腸の平滑筋の収縮及び運動が抑制され、症状が悪化するおそれがある。〕 ⑤胃アトニー又は腸アトニーのある患者〔抗コリン作用により消化管運動が低下するため症状が悪化するおそれがある。〕 ⑥重症筋無力症の患者〔抗コリン作用により筋緊張の低下がみられ症状が悪化するおそれがある。〕 ⑦本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ⑧授乳婦〔動物実験（ラット）で乳汁移行が認められている。〕	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> CYP3A4を阻害する薬剤（ケトコナゾール、イトラコナゾール等） <b>本剤副作用増強</b> 抗コリン剤、三環系抗うつ剤、フェノチアジン系薬剤、モノアミン酸化酵素阻害剤	
副作用	<b>重大な副作用</b> 血小板減少、麻痺性イレウス、尿閉 <b>その他</b> 口内乾燥、適用部位皮膚炎、適用部位紅斑、便秘、好酸球百分率増加 等	

(薬品名)	ノウリアスト錠 20mg	市販直後調査 平成25年5月～平成25年11月
(英名)	NOURIAST Tablets	
(規格・含有量)	1錠中、イストラデフィリン 20mgを含有	
(一般名)	イストラデフィリン錠	
(メーカー名)	協和発酵キリン	
【薬価収載日】	2013年5月	
【薬価】	1錠:760.70円	
【薬効コード】	871169	
【薬効分類名】	アデノシン A <sub>2A</sub> 受容体拮抗薬	

効能・効果	レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善
用法・用量	本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。通常、成人にはイストラデフィリンとして20mgを1日1回経口投与する。なお、症状により40mgを1日1回経口投与できる。
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 ③重度の肝障害のある患者[本剤は主に肝臓で代謝されるため、本剤の血中濃度が上昇する可能性がある。また、これらの患者での使用経験はない。]
相互作用	<b>本剤作用増強</b> CYP3A4を強く阻害する薬剤(イトラコナゾール、クラリスロマイシン等)、CYP3A4を阻害する薬剤(エリスロマイシン、フルコナゾール等) <b>他剤作用増強</b> CYP3A4の基質となる薬剤(ミダゾラム、アトルバスタチン等)、P糖蛋白の基質となる薬剤(ジゴキシン、アトルバスタチン等) <b>本剤作用減弱</b> タバコ(喫煙) <b>その他</b> エンタカボン
副作用	<b>重大な副作用</b> 幻視、幻覚、妄想、せん妄、不安障害、うつ病の悪化・抑うつ、被害妄想、幻聴、体感幻覚、躁病、激越、衝動制御障害 <b>その他</b> ジスキネジー、便秘、幻視、幻覚、傾眠 等

## 削除医薬品通知

### ●9月2日より

エピスタ錠 60mg	削除
エクセラージェ配合顆粒	削除

## 規格追加通知

### 今回採用医薬品

### ●9月2日より

キロサイドN注 1g
エビリファイ OD 錠 3mg

## 医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
・ティーエスワン配合 OD 錠 T20	・ティーエスワン配合カプセル 20
・ティーエスワン配合 OD 錠 T25	・ティーエスワン配合カプセル 25
・リバロ OD 錠 2mg	・リバロ錠 2mg
・リュープリン注射用キット 1.88	・リュープリン注射用 1.88

## 適応追加通知

イーケブラ錠 500mg	<p><b>成人：</b> 通常、成人にはレベチラセタムとして1日1000mgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日3000mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として1000mg以下ずつ行うこと。</p> <p><b>小児：</b> 通常、4歳以上の小児にはレベチラセタムとして1日20mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日60mg/kgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として20mg/kg以下ずつ行うこと。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。</p>
キュピシン静注用 350mg	<p>[敗血症、感染性心内膜炎の場合] 通常、成人にはダプトマイシンとして1日1回6mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。</p> <p>[深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染の場合] 通常、成人にはダプトマイシンとして1日1回4mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。</p>
トレリーフ錠 25 mg	<p>本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。 通常、成人にゾニサミドとして、1日1回25mgを経口投与する。なお、パーキンソン病における症状の日内変動(wearing-off現象)の改善には、1日1回50mgを経口投与する。</p>
ホスレノール顆粒分包 250 mg	<p><b>慢性腎臓病患者における高リン血症の改善</b></p>
シナジス筋注液 50mg 100mg	<p>・24ヵ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児 ・24ヵ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児</p>